

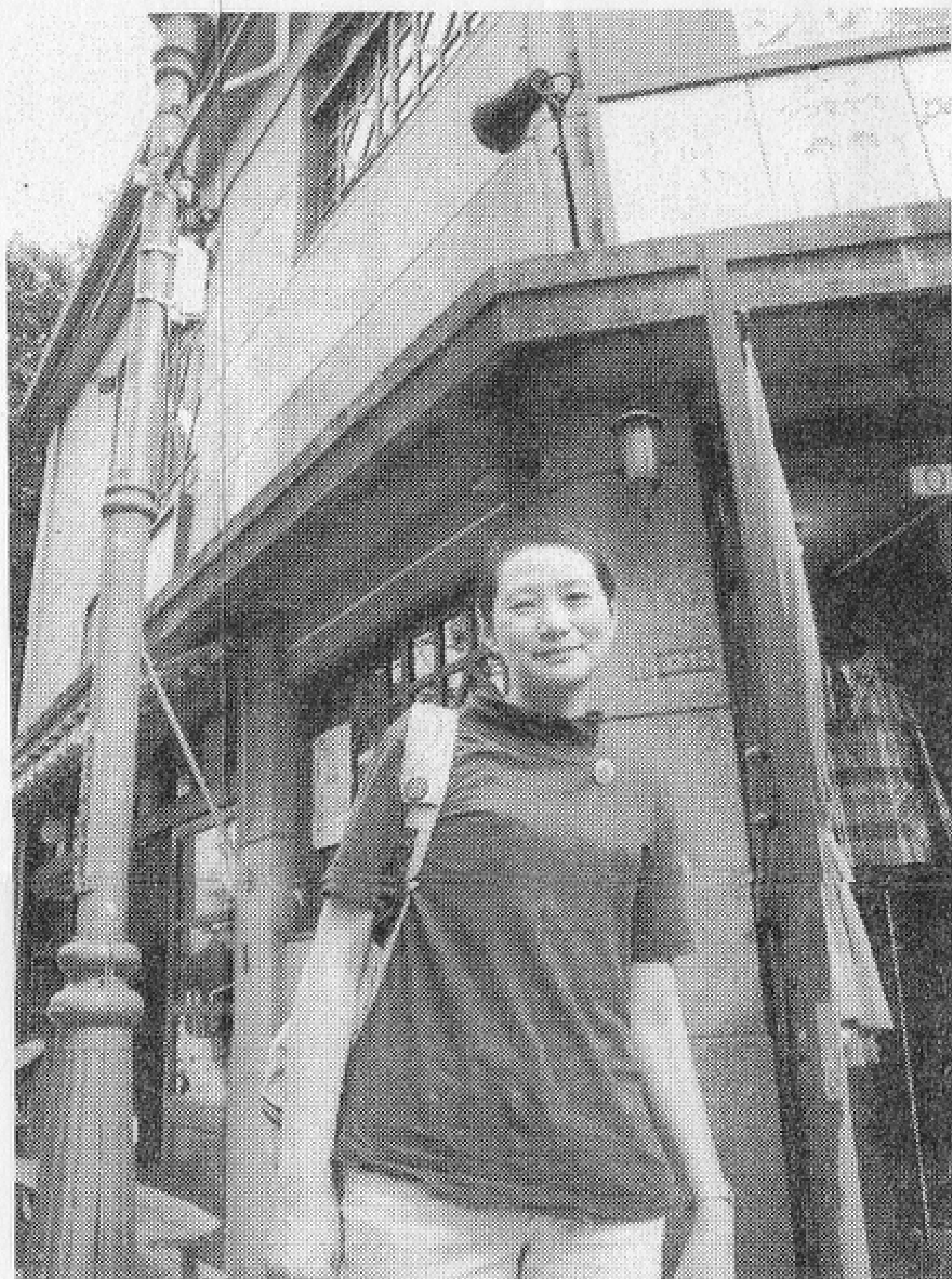
ファッション系に限らず、多くの学生・若者に愛される東京・下北沢。さまざまな文化が交差する独特の雰囲気はマンガやテレビドラマにもよく取り上げられる。この街が今、大規模な開発計画に揺れている。若手クリエイターの育成で役割を果たしている街だけに見逃せない動きだ。

——シモキタらしさが変わってしまうかもしれないそうですね。

そうです。小田急線の地下化が決定し、これに伴い、街全体を大きく作り変えるというものです。その一環で小田急線を斜めに横断する幅26メートルの都市計画道路の建設も強行されようとしています。建築物の容積率が緩和につながるが、10階以上のビルも建てられるようになります。小道の交差が魅力的なシモキタの雰囲気、と心配しているのです。

## ユリカさん

## 高橋



高橋ユリカさんは文化出版局の元編集者。「ミセス」を担当していた。下北沢フォーラムの冊子では「個性派ファッションの街」のテーマでレポートも出している

の商店街の再生に何かヒントを提供するような存在でいたいですよね。

——シモキタの歴史と

いくつかの要因が重なってこの街ができました。①駅周辺が戦災で焼けず、終戦直後から駅前市場が隆盛を極めた②家庭洋裁の全盛期に生地、部材、仕立て屋さんの集中が評判になり、おしゃれな人が集まった。文化服装学院の学生たちも素材を探しによく来ていた③小田急線の沿線の発達で集客増④米軍の放出品や海外の化粧品などが手に入る街、雑貨屋の増え、

おしゃれな若者が集まってきた。その後、劇場やライブハウスが生まれ、古着屋はもう数え切れないくらいになった。新宿や渋谷に近いという地理的条件もかなりの作用しました。

——計画変更の展望は。

世田谷区は今年度中に、事業認可を得る意向ですが、計画は住民の思いとかけ離れています。都市開発や建築の専門家も声を上げ始め、計画の変更の現実味は増えています。うれいのは、東大、明治大など近くの大学の学生たちが運動に次々に参加してくれていること。この街でお店を借りている人や外国人の居住者も。共感の輪はどんどん広がっています。

——東京発のファッションの創造にとって、この街は貴重ですね。

右肩上がりの経済成長が終わった今、シモキタはファッション創造でも重要な役割を果たすと思う。人々が何を求めているか、敏感に感じられる人間の街だからです。

## 北下、リスト、ナリ、フォーラム、ジャズ

北下、リスト、ナリ、フォーラム、ジャズ

——住民のみなさんはどう思っているのですか。下北沢フォーラムでは05年10月11日、1200人からアンケートを回収しました。今年1月に発表したのですが、駅前ロータリーには50%が反対、都市計画道路には70%が反対です。「必要」と答えたのは1割に過ぎません。少数の人が騒いでいるわけではありません。

すぐ商店街を歩けるこの街に魅力を感じませんか？ ヒューマンスケールの街ですよね。最近、ますます人気がなっている一番の理由でしょう。一方で、丸の内、六本木、表参道と、新しい街が次々に出てくるけれど、すぐに飽きちゃうんじゃないかな。最先端の街にあこがれを抱く時代も私にはありませんが、今はなんか違う、という感じがします。歴史的に形成された街並みを生かして、ヒューマンスケールの街を育てよう、

という取り組みは今、全国に広がっています。先日取材で訪れた熊本の裏通りのシモキタのような街の萌芽を見ました。全国から人が集まる場所だけに、地方

未来を  
見つめて！

ビューマンスケールの街を育てたい

2006  
8/4

新報  
織研

みなさんは、駅を降りて